

# 豊かな森づくりと魅力ある林業の構築をめざして

平成 25 年度版 「富山県森林・林業白書」

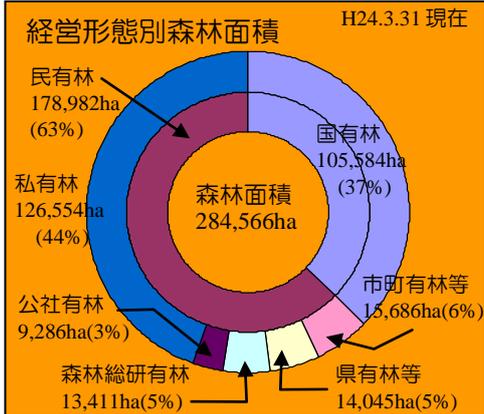


森林ボランティアによる森づくり活動〔高岡市国吉地内〕

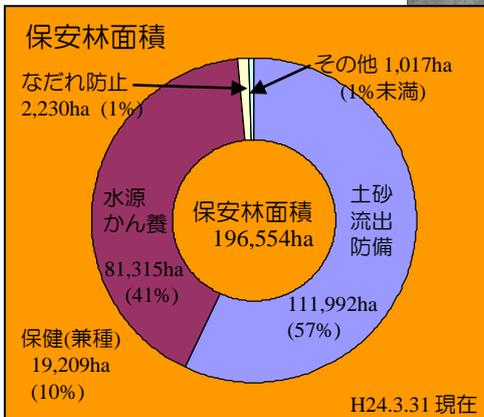


搬出されるスギ間伐材〔氷見市土倉地内〕

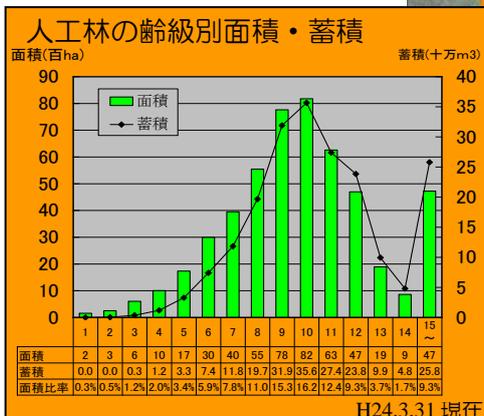
# I 富山県の森林・林業の姿



本県の森林面積は 285 千 ha で、総土地面積 425 千 ha の 67% を占めています。森林率は全国とほぼ同じとなっています。



森林の公益的機能の維持・増進が重要な森林を目的によって保安林に指定しています。保安林率は 69.0% と全国都道府県で第 1 位となっています。

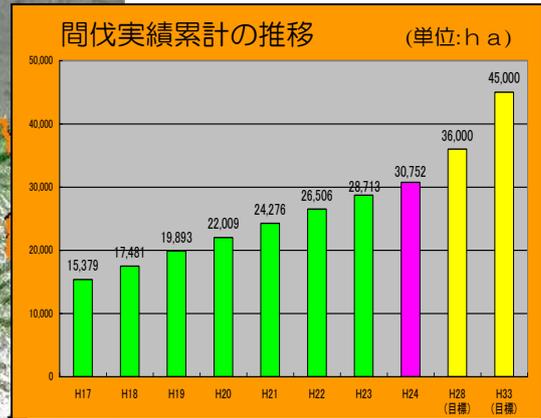


県内の人工林は、9 齢級以上の木材として利用可能な森林が全体の約 7 割を占めています。その蓄積も約 8 割となっています。

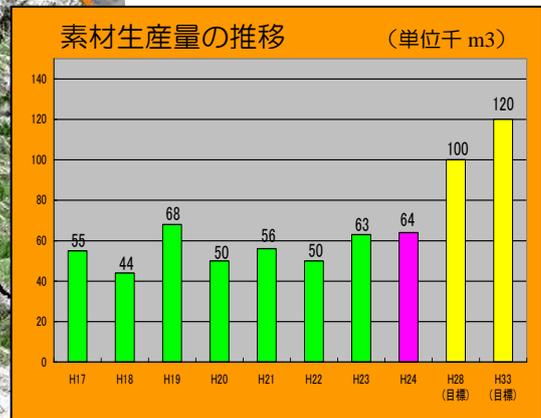


### 目次

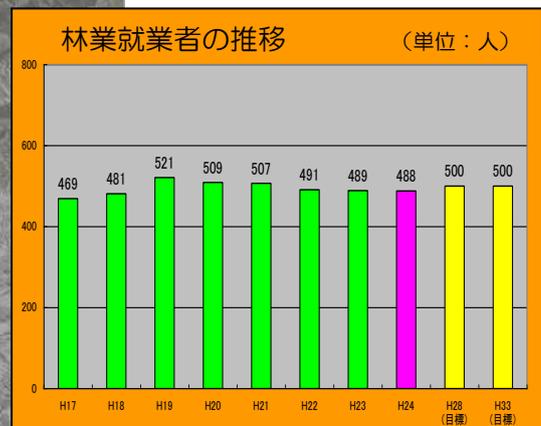
- I 富山県森林・林業の姿 ..... 1
- II 富山県森林・林業振興計画 [改訂版] の概要 ..... 3
- III 計画実現のため、平成 24 年度に講じた主な取組み ..... 5
  - 1 豊かな森づくりに向けた主な施策
  - 2 魅力ある林業の構築に向けた主な施策
- IV 富山県森林・林業振興計画の目標指標と平成 24 年度実績 ..... 14
- V 平成 24 年度の森林・林業に関する主な出来事 ..... 15



地球温暖化防止に向けた、二酸化炭素の吸収源対策として、間伐を重点とした森林整備を推進しています。



県産材の生産量は、木造公共施設等の整備や県産材を使った住宅建設への支援等により、スギを中心に増加傾向にあります。

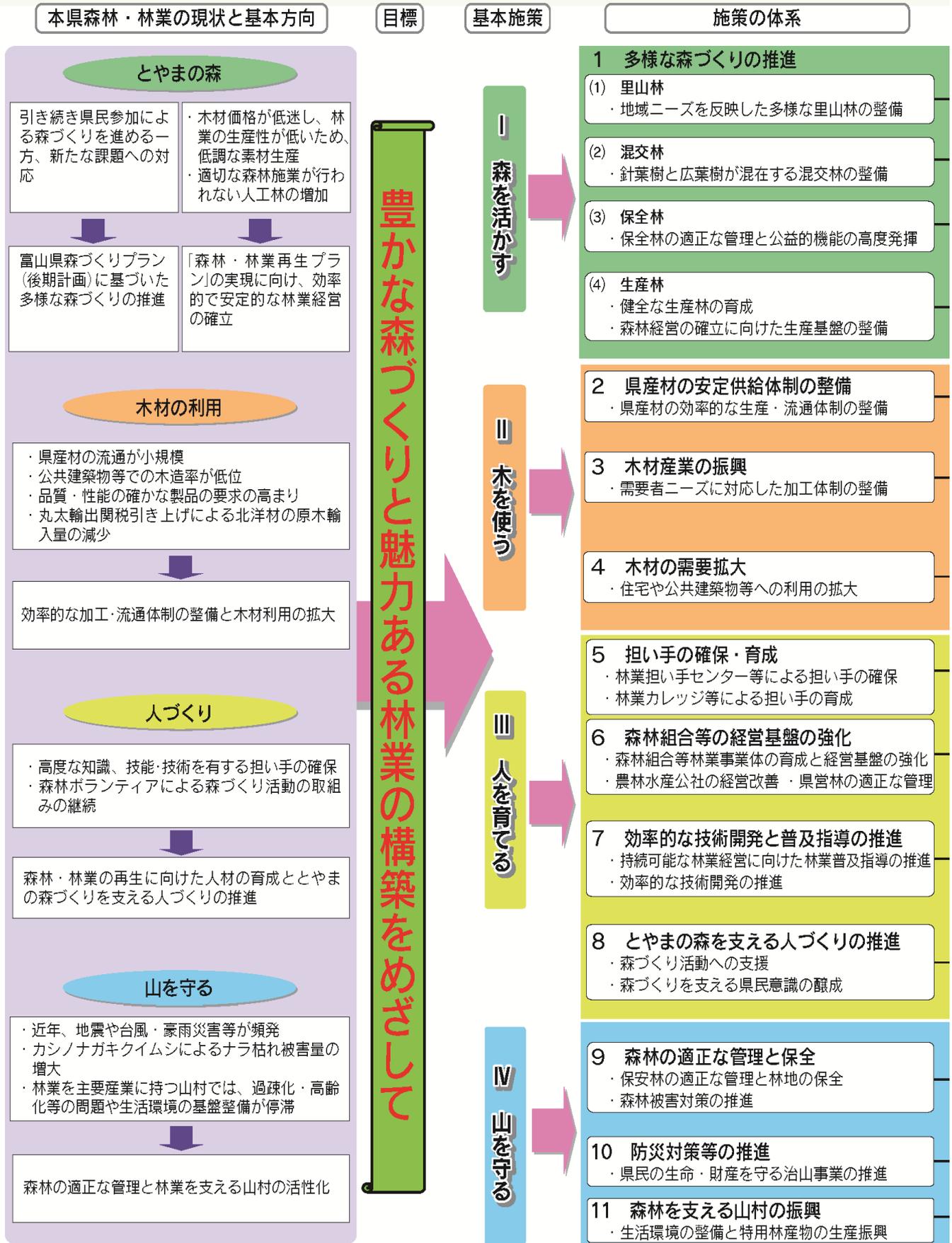


林業就業者は減少からほぼ横ばいでの推移となっていますが、平均年齢は60歳(H5)から49歳(H24)と若返っています。

## II 富山県森林・林業振興計画〔改訂版〕の概要

### 改訂の趣旨

- ・上位計画である「新・元気とやま創造計画」が平成24年4月、新たに策定されたこと
  - ・富山県森づくりプランが策定から5年経過し、とやまの森をめぐる状況の変化に対応した取組みが必要になったこと
  - ・国では「森林・林業再生プラン」が策定され、その実現に向けた取組みが進められていること
- など、社会情勢の変化、国の施策の動きなどに的確に対応するため、現行の「富山県森林・林業振興計画」を平成24年11月に改訂しました。



- ・本計画の位置付け  
「新・元氣とやま創造計画」の森林・林業・木材産業分野に関する計画として、県森林・林業行政の基本指針になります。
- ・計画期間:平成 24 年度～平成 33 年度
- ・目標年次:平成 33 年度(中間目標 平成 28 年度)

### 主な取組内容

### 主な参考指標 H23 ⇒ H33

- 県民協働による里山林の整備の推進
- 地域住民による里山林の維持管理活動の継続への支援
- 過密人工林や風雪被害林の整備
- 竹林が侵入した人工林の整備
- 公益的機能の高度発揮が必要な山地の保全対策
- カシノナガキクイムシ被害跡地の復旧
- 森林経営計画の策定支援と施業集約化の推進
- 森林整備に必要な森林境界の明確化
- 伐採後の森林の適正な更新と花粉発生源対策
- 林道等の路網整備(林道、林業専用道、森林作業道)

- ◎ 里山林の整備面積(累計)  
1,296ha ⇒ 3,900ha
- ◎ 混交林の整備面積(累計)  
693ha ⇒ 2,100ha
- ◎ 実のなる木の植栽面積(累計)  
- ⇒ 100ha
- ◎ 間伐実施面積(累計)  
27,302ha ⇒ 45,000ha
- ◎ 優良無花粉スギ植栽面積(累計)  
- ⇒ 120ha
- ◎ 林内路網密度  
28.7m/ha ⇒ 36.8m/ha

- 高性能林業機械の活用による低コスト生産の推進
- 原木流通の低コスト化・効率化の推進
- 品質・性能の確かな製品生産体制の支援など木材産業の体質強化
- 新たな製品開発や安全な住宅づくりの促進
- 川上と川下の関係者が連携して取組む家づくりへの支援
- 県産材を使った住宅の建設や公共建築物等の木造化・内装木質化の促進
- 木育や県産材道具の設置等による木材利用の普及啓発
- 木質バイオマスの技術開発とエネルギー利用の促進

- ◎ 県産材素材生産量  
63千m<sup>3</sup> ⇒ 120千m<sup>3</sup>
- ◎ 製材品出荷量に占める人工乾燥材の割合  
41% ⇒ 50%
- ◎ 公共建築物等の木造率  
12% ⇒ 25%

- 林業就業者の人材確保と定着
- 効率的な素材生産等を担う技能者の育成
- 森林組合の経営基盤の強化と民間事業者の育成
- 農林水産公社の伐採収入の増大や金利負担の低減等による経営改善
- 県営林の造成や伐採による適正な経営
- 森林・林業に関する技術・知識の普及・指導
- 低コストで安定的な県産材の供給体制を推進する能力を備えた人材の育成
- 森林・林業再生に向けた技術の開発
- 森林ボランティアの活動への支援
- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア団体や企業等への活動の参加支援
- 県民が植樹・育樹活動等に参加する機会の提供

- ◎ 林業就業者  
489人 ⇒ 500人
- ◎ 認定森林施業プランナー数(累計)  
- ⇒ 24人
- ◎ 素材生産を担う現場技能者数(累計)  
6人 ⇒ 90人
- ◎ 認定事業者のうち民間事業者数  
3事業者 ⇒ 10事業者
- ◎ 研究の実用化件数(累計)  
11件 ⇒ 30件
- ◎ 県民参加による森づくりの年間参加延べ人数  
10,775人 ⇒ 13,000人

- 保安林の適正な管理と水源地域の林地の保全
- 森林病害虫に対する適切な防除の実施と被害跡地の健全な森林への誘導
- 気象災害等の予防と復旧
- 山地災害危険地区の各種災害防止対策の推進
- 災害危険箇所情報の提供
- 生活道路として活用される林道の整備
- 特用林産物生産施設整備の支援や生産指導

- ◎ 保安林指定面積(累計)  
92,072ha ⇒ 93,200ha
- ◎ 山地災害危険地区着手数(累計)  
1,358箇所 ⇒ 1,419箇所
- ◎ 海岸防災林整備延長  
5,028m ⇒ 6,700m
- ◎ 年間きのこ生産量  
3,435t ⇒ 4,150t

### Ⅲ 計画実現のため、平成 24 年度に講じた主な取組み

#### 1 豊かな森づくりに向けた主な施策

#### 「森を活かす」ー県民参加による「多様な森づくり」の推進ー

- 「里山林」や「混交林」などの整備や、平成24年度から新たに取り組む優良無花粉スギの普及・拡大や実のなる木の植栽の推進については、県民参加による森づくりの観点から、水と緑の森づくり税を活用し進めることとします。
  - ・ 「里山林」は「里山再生整備事業」により、地域住民等との協働により整備を進めます。
  - ・ 「混交林」は「みどりの森再生事業」により整備を進めます。
  - ・ 「実のなる木の植栽」については、カシノナガキクイムシ被害地の復旧は森林の持つ水土保持機能など公益的機能の確保につながることから、県民参加の森づくりで進めます。
  - ・ 「優良無花粉スギ〔立山 森の輝き〕」については、苗木価格が割高であるなど採算が合わないことから、モデル的に普及推進を図ります。
- 「森づくりを支える県民意識の醸成」については、水と緑の森づくり税を活用し、フォレストリーダーが指導する「森の寺子屋」（出前講座や森林教室）を開催します。

[平成 24 年度に講じた施策]

- 水と緑の森づくり税を活用した「里山林」の整備
- ① 市町村、地域の皆さんとともに、集落周辺の里山の広葉樹林や竹林など再生整備に取り組みました。

【実績】

- ・ 里山整備に取り組んで1～3年目の地区  
64 地区（10 市町）4 5 8ha、地域住民等の参加  
人数 1,470 人
- ・ 4 年目以降の地区（H23 より対象）  
8 3 地区（13 市町）7 6 6ha、地域住民等の参加  
人数 3,579 人

- ◎ 整備事例：氷見市指崎地区

〈里山整備前〉



〈里山整備中〉



〈里山整備後〉



地域住民による里山林整備 砺波市寺尾地区



- ② 主要道路沿線などで、カシノナガキクイムシの被害を受けた枯損木を除去しました。

【実績】

- ・ 29 地区（12 市町）2,523 m<sup>2</sup>

- ③ 里山の適切な管理を進めるため、里山再生整備事業を実施している地域住民等に里山管理の継続方法や竹林の新たな利用方法の研修等を行いました。

【実績】

- ・ とやまの竹資源ネットワークの活動  
平成 25 年 3 月末現在 1 2 3 団体参加  
竹材回収車（かぐや竹舟号）の運行案内、調整  
講習会開催等
- ・ かぐや姫の里の集いの開催  
竹林の安全な整備のための技術講習、実習、竹  
材の利用の研修等、10 月 20 日 161 名参加
- ・ 里山リーダーセミナーの開催 県内各地 8 回

かぐや姫の里の集い 開催状況



● 水と緑の森づくり税を活用した「混交林」の整備

風雪被害林を受けた人工林や、手入れ不足で過密となった人工林をスギと広葉樹の混交林に誘導するための整備を実施しました。

【実績】・風雪被害林の整備 15.8ha 5地区（5市）

・過密人工林の整備 109.0ha 14地区（10市町）

・侵入竹林整備 40.1ha 12地区（11市町）

合計164.9ha

◎ 整備事例：入善町舟見 地内（過密人工林整理）

〈整備前〉



〈整備後〉



〈混交林化へ誘導〉



● 水と緑の森づくり税を活用した実のなる木の植栽

カシノナガキクイムシにより被害を受け、ナラ類が集団で枯損した奥山において、ミズナラやコナラなどの実のなる木を植栽しました。

【実績】

・7地区（4市町） 13,840本

● 水と緑の森づくり税を活用した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及推進

スギ人工林の伐採跡地における優良無花粉スギの植栽を支援しました。

【実績】

・入善町、上市町、富山市、氷見市、南砺市の5箇所 2.3ha（4,500本）

● 森づくりを支える県民意識の醸成

・森林ボランティア団体等の表彰と、「水と緑の森づくり事業」に取り組んでいる団体が参加し、見て触れて体験し交流する「県民参加の森づくりフェア」をとやま森の祭典と併せて開催しました。5月23日 南砺市立野原東「桜が池公園」で開催 約2,000人参加（森の祭典）

・小中学校等への森林環境教育を推進するため、フォレストリダーによる「森の寺子屋」を開催しました。

【実績】

・「森の寺子屋」の開催 90回

県民参加の森づくりフェアの開催



森の寺子屋の開催



[平成25年度に講じる施策]

● 水と緑の森づくり税を活用した里山林の再生整備と混交林の整備

① 地域住民との協働による里山林の整備、風雪被害林や過密人工林、さらには竹林が侵入した人工林など、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を進めます。

② カシノナガキクイムシ被害地への実のなる木の植栽や優良無花粉スギ「立山 森の輝き」のモデル的な植栽を進めます。

● 「森の寺子屋」による森林環境教育の推進

「森の寺子屋」の指導者となる富山県フォレストリダーによる森林環境教育の推進を図ります。

## 「木を使う」ー県民による県産材の有効利用の促進ー

- とやまの森づくりにつながる県産材の有効利用を県民とともに進めるため、「県産材アドバイザー」の活動支援など従来からの取組みに加え、県産材住宅への助成など、県産材を利用した住宅建設の促進に取り組みます。
- 水と緑の森づくり税を活用し、県産材を使った公共施設の木造化や内装木質化、備品や遊具の導入に対し支援し、県産材の積極的なPRに努めます。

### [平成24年度に講じた施策]

- とやまの木で家づくりモデル事業  
県産材を活用した住宅の新築・増改築に対して助成しました。  
(補助単価5千円/m<sup>3</sup>~2万円/m<sup>3</sup>)  
【実績】  
・助成棟数 81棟
- 水と緑の森づくり税を活用した県産材の利用促進  
とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材を使った公共施設の木造化や内装木質化、備品や遊具の導入を支援しました。  
【実績】  
・公共建築物等県産材利用促進モデル事業  
木造公共施設等整備 5施設  
公共施設の内装木質化・備品導入 6施設  
・県産材こどもの城づくり事業(屋外遊具の設置)  
2施設  
・特別支援学校用机・椅子の導入  
10施設(机、いす 各24台)  
・とやま県産材遊具貸出  
35回
- 「とやま木と住まいフェア2012」の開催  
県民に木の良さや木造住宅の安全性などについて理解を深めてもらうことを目的に、県木材研究所で開催しました。  
【実績】  
・企業ブース等での木造住宅、木製品等のPR  
・木材研究所施設を活用した耐震実験等の実演  
・とんかち大将コンクール表彰式及び作品展示  
・木工体験教室等の開催

モデル事業を活用した県産材住宅



県産材を使った木造公共施設の整備



県産材屋外遊具の設置



### [平成25年度に講じる施策]

- 県産材を利用した住宅建設の促進  
県産材を使用した住宅の新築又は増改築に助成します。
- 木造公共建築物等の推進  
県産材を使った木造公共施設の整備等に対し助成します。
- 水と緑の森づくり税の活用などによる『木育』の推進  
県産材を用いた特別支援学校用の机・椅子や県産材遊具の導入支援などにより、木を身近に使うことで、人と木と森との関係を積極的に考えられる豊かな心を育む『木育』を推進します。

## 「人を育てる」ー森林ボランティア活動への支援ー

- とやまの森づくりサポートセンターを通じたボランティア団体や企業による森づくり活動を支援します。
- 「とやまの森づくり総合情報システム」を活用し、とやまの森の現状や、水と緑の森づくり税を活用した森づくり事業の実施状況、森林ボランティアや企業による森づくり活動などの情報を県民にPRすることで、県民参加による森づくり活動の裾野拡大を進めます。

### [平成24年度に講じた施策]

- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動への支援
    - ・ ボランティア団体等と森林所有者との橋渡し
    - ・ 登録会員のPRパネルの作成・展示
    - ・ 情報提供や新規団体等の相談窓口の設置
    - ・ 安全機器や林業用具の貸出、保険料の支援
    - ・ 技術研修（森づくり塾）の開催
    - ・ 登録団体の交流支援など
- 【実績】
- ・ 平成25年3月末現在登録団体等  
88団体（3,377人、内個人54人）、46企業

- 混交林の整備などに必要な県産広葉樹苗を県民の皆さんとともに育てる「みどりの里親事業」を実施し、企業の森づくり活動など幅広い植樹活動に使用しました。
- 【実績】
- ・ ブナ、ミズナラなどの広葉樹苗2万本を育成

- とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供
- とやまの森づくりホームページにより、「水と緑の森づくり事業」の実施状況を情報発信しました。
- 【実績】
- ・ とやまの森づくりホームページで公開した情報  
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>  
アクセス件数 44,000件(平成25年3月31日現在)

伐採木竹を処理するチップパー機の貸出し



技術研修（森づくり塾）の開催



企業の森づくり活動（県産広葉樹苗の植栽）



### [平成25年度に講じる施策]

- とやまの森づくりサポートセンターによる森林ボランティア活動へのさらなる支援  
登録ボランティア団体の自主的な安全講習会開催への支援など引き続き活動強化を進めます。
- とやまの森づくり総合情報システムによる県民への森づくり情報の提供  
とやまの森づくりホームページを通じて、水と緑の森づくり税を活用した森づくり事業の実施状況、森林ボランティアや企業による森づくり活動などの情報を提供します。

## 2 魅力ある林業の構築に向けた主な施策

### 「森を活かす」—持続可能な林業経営の推進—

- 間伐材等の県産材を利用することにより、森林整備に必要な資金を森林所有者に還元し、“植える（植栽）→育てる（保育）→収穫する（伐採）”という「循環する森づくり」を進め、森林整備を促進します。

- ① 施業集約化モデル団地の設定による木材生産の促進
- ② 低コスト作業路網の整備や、高性能林業機械の導入支援

[平成24年度に講じた施策]

- 富山県森林整備・林業再生基金の活用

富山県森林整備・林業再生基金（H21年6月設置）を活用し、川上では、施業集約化団地での間伐や作業路網、高性能林業機械の整備により持続可能な林業経営を推進するとともに、川下では、木材加工流通施設の整備や公共施設の内装木質化、地域材利用開発など、県産材の利用促進に重点的に取り組んでいます。

平成24年度補正で、新たに約24億円の基金を積み増し、平成26年度まで基金事業に取り組めます。

- 施業集約化による木材生産の促進

施業の集約化を進めるためには森林所有者の特定や境界の明確化が前提となることから、境界や所有者が不明で整備が進まない森林において、森林境界の明確化作業に対して支援しました。

【実績】

- ・ 施業集約化団地数…………… 29 箇所
- ・ 森林境界明確化面積…………… 395 ha

- 作業路網及び高性能林業機械の整備

- ・ 県内の施業集約化に取り組む地区を優先に、素材生産等施業を効率的に行うためのネットワークとなる作業道や作業路の整備に支援しました。

【実績】

- ・ 作業道開設…………… 0.7 km
- ・ 作業路開設…………… 103 km

- ・ 県内の施業集約化に取り組む地区を優先に、効率的に伐採等作業を進めるため、高性能林業機械の導入に支援しました。

- ・ ハーベスタ 2台 ・ グラップル付バックホウ 1台
- ・ フォワーダ 1台 ・ ウィンチ付グラップル 1台
- ・ グラップル付トラック 1台

森林所有者等による森林境界明確化作業



最新の林業機械による作業道作設状況



### トピックス 「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」による木質バイオマス利用の推進

「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく固定価格買取制度が平成24年7月から始まりました。この制度は、太陽光や水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーによる電気の買い取りを電力会社に義務づけるなど、社会全体で再生可能エネルギーを普及・拡大させるものです。

県では平成25年度、民間事業者がこの制度を活用し実施する木質バイオマス発電施設整備への支援を行い、再生可能エネルギーの導入促進と未利用間伐材の利用促進に努めることとしています。

- 地球温暖化防止に向けた森林整備の推進  
二酸化炭素の森林吸収量確保に向け、スギ人工林の間伐や広葉樹林の整備など森林整備を進めました。  
(平成 19 年度から 6 年間で 12,700ha の森林整備を実施することとしていました。)

【実績】

- ・ 造林事業 789 ha
- ・ 治山事業 52 ha
- ・ 水と緑の森づくり事業 385 ha
- ・ 県単独森林整備事業等 33 ha
- ・ 森林吸収源対策モデル事業 166 ha
- ・ その他（森林総研造林等） 614 ha

計 2,039 ha (H19~24 の 6 年間で 13,271 ha 実施)

間伐を実施したスギ人工林



[平成 25 年度に講じる施策]

- 施業集約化による木材生産の促進  
森林境界明確化作業など施業集約化への支援を実施し、取り組みの拡大を進めます。
- 作業路網及び高性能林業機械の整備  
施業集約化に取り組む地域での作業路網や高性能林業機械の整備を重点的に支援し、林業の生産性向上を目指します。
- 間伐等森林整備の推進  
二酸化炭素の森林吸収量を確保するため、引き続き、間伐等の森林整備を推進します。

## 「木を使う」ー県産材の安定供給体制の整備ー

- 県産材の安定的供給体制の構築を図るため、流通コストの低減と県産材の利用拡大を目指した体制づくりを進めます。
- 新たな流通システムの構築のため、出材者から製材工場関係者間で合意形成を図ります。

[平成 24 年度に講じた施策]

- 県産材の流通体制の整備
- ① 「富山県森林整備・林業再生基金」を推進する協議会の中で、出材者と製材関係者との県産材安定供給の締結に向けた具体的な協議を進めました。  
協定が締結されたもののうち、新たな木材加工施設整備が必要な施設については、「森林整備・林業再生基金」を活用して支援しました。

【実績】

- ・ 木材加工流通施設整備 3箇所
- ・ 間伐材の流通経費支援 2件

- ② 緊急雇用対策の支援制度を活用し、県産材の活用促進のため、森林組合、素材生産業、製材業、工務店などの異業種連携への支援や県産材を使用した住宅のPRを実施しました。

【実績】

- ・ とやまの木せいひん展示会の開催
- ・ 県産材を使った住宅の見学会の開催

再生基金により整備した木材加工施設



[平成 25 年度に講じる施策]

- 流通の低コスト化と木質バイオマス発電施設整備への支援
  - ・ 安定取引協定の締結などによる出材者と製材関係者との連携と合意形成を進めます。
  - ・ 木材加工流通施設整備を支援し、取り組みの拡大を進めます。
  - ・ 木質バイオマス発電施設の整備により、未利用間伐材等の利用促進に進めます。

## 「人を育てる」ーとやまの林業を支える担い手の確保・育成ー

- 林業カレッジの研修により期待される役割に応じた人材の育成を図ります。
  - ① 路網計画（低コスト作業路を含む）や長伐期施業計画、さらには森林収支計画などの総合的な広域プランを立てることのできる人材（森づくりプロデューサー）の育成
  - ② 低コスト作業道の開設など、県産材の低コスト生産を担う技術者の育成
  - ③ 民間事業者に対する技術的指導
- 低コスト生産や素材生産を担う人材の育成を緊急に図ります。

### [平成24年度に講じた施策]

- 富山県林業カレッジの研修による人材の育成
  - a 路網計画や森林収支計画などの総合的な広域プランを作成できる技術者を養成しました。
 

【実績】

    - ・研修期間 10 日間、5 名養成
  - b 作業地の状況に応じた簡易で耐久性のある低コストな作業道を開設する技術者を養成しました。
 

【実績】

    - ・研修期間5日間、4名養成
  - c 高性能林業機械のメンテナンス技術の習得や高度で熟達した機械操作技術の研修を実施しました。
 

【実績】

    - ・研修期間3日間、7名受講
  - d 架線集材など高度な林業現場に従事する際に必要な技能習得のための研修を実施しました。
 

【実績】

    - ・研修期間10日間、8名受講
  - e 林業への就業を支援する講習を実施しました。
 

【実績】

    - ・講習期間19日間、11名受講
  - f 林業に必要な基本的な知識・技能等の習得や作業班長等に必要な知識・技能等の習得研修を段階的かつ体系的に実施しました。
 

【実績】

    - ・フォルトワーカー（林業作業士） 1年次～3年次 84日間 34名受講
    - ・フォルトリーダー（現場管理責任者） 15日間 8名受講
- 低コスト生産や素材生産を担う人材の緊急育成
 

森林施業プランナーや素材生産技能者の養成などを「森林整備・林業再生基金」を活用して支援しました。

【実績】

  - ・森林施業プランナーの緊急育成 個別指導 4事業者、育成研修 8名受講
  - ・素材生産を低コストで行える人材の緊急育成 講習参加支援 94名受講

低コスト作業道のルート選定実習



高性能林業機械のメンテナンス実習



### [平成25年度に講じる施策]

- 期待される役割に応じた人材の育成
 

県産材の低コスト生産を担う技術者の育成研修など、引き続き富山県林業カレッジ研修への支援を実施します。
- 低コスト生産や素材生産を担う人材の緊急育成
 

「森林整備・林業再生基金」を活用し、森林施業プランナーや素材生産技能者を緊急に養成します。さらに、市場動向に対応できる人材の育成や経営基盤の強化を図る指導を行います。

# 「山を守る」－森林を支える山村の振興と森林の適正な管理と保全－

[平成24年度に講じた施策]

- 山のみち地域づくり交付金事業の取組み  
森林整備の促進や山村地域における生活環境の改善を図るため、地域の骨格的な林道となる「山のみち」を整備しました。

【実績】

- 路線ごとの開設延長
 

宮崎・蛭谷線	(0.3) km	
福平・東城線	0.2 km	
有峰線	0.3 km	
大沢野・八尾線	0.7 km	
上平・福光線	(0.7) km	計 1.2(1.0) km

( ):未完成延長

森林整備を促進する林道（トラック運搬）



- 保安林の適正な管理
  - ・公益上必要な森林について保安林に指定しました。
  - ・保安林の管理を強化するため、保安林標識の新設や交換を県内91箇所で行いました。

【実績】

- 保安林種ごとの指定面積
 

土砂流出防備保安林	0.4 ha	
その他保安林	0.5 ha	計 0.9 ha

適正に管理されている保安林



- 森林病虫害に対する適切な防除の実施
  - ・県下全域へと被害が拡大したカシノナガキクイムシを防除するため、従来からの防除対策と併せて簡易で効果的な防除方法（合成フェロモンによる誘引捕殺）に取り組みました。
  - ・海岸保安林など保全すべき松林を松くい虫被害から守るため地上散布や伐倒駆除を実施しました。

【実績】

- カシノナガキクイムシ対策
 

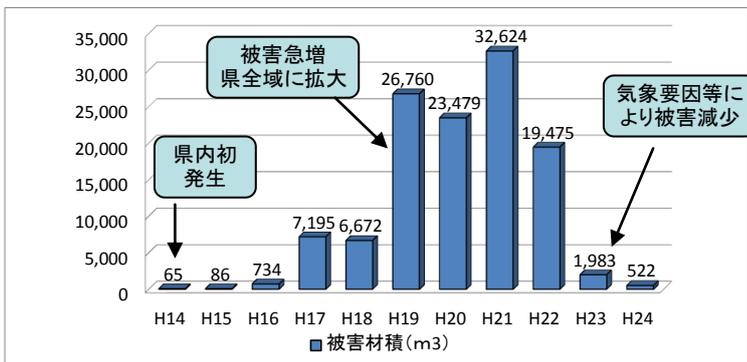
伐倒駆除	7市町	121 m <sup>3</sup>
樹幹注入	10市町	4,913本（薬剤本数）
過年度枯損木除去	12市町	2,523 m <sup>3</sup>
（枯損木除去には水と緑の森づくり税を活用）		
誘引捕殺		4箇所
- 松くい虫対策
 

薬剤地上散布	2市	17 ha
伐倒駆除	2市	36 m <sup>3</sup>
樹幹注入	2市	200本（薬剤本数）

松くい虫対策（伐倒駆除）



## ○ カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害状況の推移



## ナラ枯れ被害分布図(H24)



● 災害に強い森林づくりの推進

台風・梅雨等の集中豪雨に起因した山地災害や、東日本大震災を教訓とした地震や津波等から県民の生命・財産を保全するため、災害に強い森林づくりを目指し治山施設の整備を進めました。

【実績】

- ・ 治山事業（南砺市他 12 市町 1 2 4 箇所）

● 水源の森林づくりの推進

県民生活に安定的な水を供給するため、ダム上流等の重要な水源地域における荒廃地の復旧と併せて、本数調整伐等の森林整備を実施しました。

【実績】

- ・ 水源地域整備事業（南砺市他 2 市町 1 3 箇所）

● 山地災害危険地区の整備の推進

災害防止のため、治山施設の設置と周辺森林の整備等を一体的に実施しました。

【実績】

- ・ 復旧治山事業（富山市他 5 市町 3 5 箇所）
- ・ 予防治山事業（南砺市他 7 市町 3 1 箇所）
- ・ 地域防災対策総合治山事業（朝日町 1 箇所）

● 雪害防止対策の推進

なだれ防止林の維持・造成に努めるとともに、なだれ危険箇所に予防柵等を設置し、防止対策を実施しました。

【実績】

- ・ なだれ防止林造成事業（南砺市他 1 市 4 箇所）

● 海岸保全対策の推進

飛砂、潮風、高潮等の被害から人家、農地等を保全するため、海岸防災林の造成及び保育等の維持管理を実施しました。

【実績】

- ・ 海岸防災林造成事業（入善町他 1 町 4 箇所）

災害に強い森林づくり（南砺市大鋸屋）



同上（上市町伊折外6ヶ村入会）



海岸保全対策の推進（入善海岸）



[平成 25 年度に講じる施策]

● 山のみち地域づくり交付金事業への取組み

路線毎に重点整備区間を設定し、予算の集中化により、事業効果の早期実現に努めます。

● 森林病虫害に対する適切な防除の実施

カシノナガキクイムシや松くい虫の被害拡大を防止するため、引き続き被害木の伐倒駆除や保全すべき樹木への薬剤注入等を実施します。

● 災害に強い山づくりの推進等

- ① 山地災害危険情報を住民へ周知し、住民の安全確保を図ります。
- ② 治山施設情報を活用し既存治山施設の適切な管理による豪雨時等の被害軽減に努めます。
- ③ 保安林等調査員による巡回を定期的に行い、違法伐採・開発の未然防止に努めます。

# IV 富山県森林・林業振興計画目標指標と平成24年度実績

区分	指標番号	指標名	単位	基準年	実績	目標	
				H23	H24	中間目標(H28)	終期目標(H33)
森を活かす	1	里山林の整備面積（累計）	ha	1,296	1,556	2,600	3,900
	2	混交林の整備面積（累計）	ha	693	858	1,500	2,100
	3	実のなる木の植栽面積（累計）	ha	—	13.8	50	100
	4	森林経営計画策定面積	ha	—	8,253	25,000	35,000
	5	間伐実施面積（累計）	ha	28,713	30,752	36,000	45,000
	6	優良無花粉スギ植栽面積（累計）	ha	—	2.3	40	120
	7	林内路網密度	m/ha	28.7	29.3	32.9	36.8
木を使う	8	県産材素材生産量	千m <sup>3</sup>	63	64	100	120
	9	製材品出荷量に占める人工乾燥材の割合	%	41	35	50	50
	10	公共建築物等の木造率	%	12	13	20	25
人を育てる	11	林業就業者	人	489	488	500	500
	12	認定森林施業プランナー数	人	—	11	18	24
	13	素材生産を担う現場技能者数	人	6	13	66	90
	14	認定事業体のうち民間事業体数	事業体	3	5	6	10
	15	農林水産公社分収造林事業における分収比率等契約変更件数割合	%	54.5	65.9	100	—
	16	研究の実用化件数（H19以降累計）	件	11	13	20	30
	17	県民参加による森づくりの年間参加延べ人数	人	10,775	11,046	12,000	13,000
	18	森の寺子屋の年間開催回数	回	95	90	115	130
山を守る	19	保安林指定面積	ha	92,072	92,325	92,700	93,200
	20	山地災害危険地区着手数	箇所	1,358	1,377	1,389	1,419
	21	なだれ危険箇所における整備箇所数	箇所	203	205	208	213
	22	海岸防災林整備延長	m	5,028	5,657	6,178	6,700
	23	年間きのこ生産量	t	3,435	3,282	3,750	4,150

## V 平成24年度の森林・林業に関する主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
4月15日	とやまの森づくりボランティア交流会〔高岡市〕
4月20日	富山県森林審議会森林保全部会（林地開発の変更許可）
4月24日	富山県水と緑の森づくり会議
5月23日	第13回とやま森の祭典〔南砺市立野原東 桜が池公園〕
〃	県民参加の森づくりフェア〔同上〕
6月 7日	富山県木造公共建築物等推進会議
6月 9日	第41回岐阜県みどりの祭り〔飛騨市〕
6月16日	富山県フォレストリーダー養成講座開講式
7月 8日	飛越源流の森づくり（夏）〔岐阜県高山市〕
7月13日	富山県森林審議会総会
7月25日～27日	花とみどりの少年団体験学習〔立山青少年自然の家〕
8月 1日	草刈り十字軍入山式〔富山市富岩運河環水公園〕
8月 6日	有峰森林文化村祭
8月21日	花とみどりの少年団リーダー研修〔呉羽青少年自然の家〕
8月27日	とやまの森づくりサポートセンター運営委員会
9月 5日	富山県木造公共建築物等推進会議建築部会、木造公共建築物推進セミナー
9月 7日	富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第1回）
9月15日	とやまの森づくりボランティアの集い〔魚津市桃山運動公園〕
9月29日	こどもの城づくり「森の見学会」〔砺波青少年自然の家〕
10月 4日	富山県森林審議会森づくり部会
〃	富山県森林審議会第2回総会
10月 6日	とやま木と住まいフェア2012〔木材研究所〕
10月14日	飛越源流の森づくり（秋）〔岐阜県飛騨市〕
10月16日	富山県林業用優良種苗需給調整協議会
10月20日	かぐや姫の集い〔氷見市〕
10月27日	富山県フォレストリーダー養成講座閉講式
11月10日	優良無花粉スギ「立山 森の輝き」植樹の集い〔立山町〕
11月19日	富山県森林・林業振興計画「改訂版」策定
12月21日	富山県森林審議会第3回総会
平成25年	
1月31日	富山県森林整備・林業再生基金事業県産材供給部会
2月21日	優良無花粉スギ「立山 森の輝き」記念植樹 in 日比谷公園〔東京都〕
2月25日	富山県木造公共建築物等推進会議土木部会
2月26日	富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第2回）
3月 2日	とやまの竹資源ネットワーク講習会〔射水市〕
〃	富山県フォレストリーダースキルアップ研修
3月 6日	とやまの森づくりサポートセンター懇話会
3月11日	木材情報セミナー
3月26日	富山県林業用優良種苗需給調整協議会
3月28日	富山県森林整備・林業再生基金事業推進協議会（第3回）

お問い合わせ先 富山県森林政策課  
 〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 TEL(076)444-3385  
 富山県森林・林業振興計画「改訂版」は下記からダウンロードできます。  
[http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1603/kj00006992.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1603/kj00006992.html)